

「あすのまち・三鷹」プロジェクト

「あすのまち・三鷹」プロジェクト

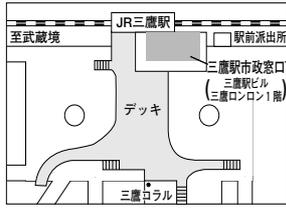
このたびは「あすのまち・三鷹」プロジェクトは、教育・福祉・環境などのさまざまな分野で、ITをはじめとする新しい技術を活用して「先導的モデル事業」「実証実験事業」を三鷹市として展開し、より自由で豊かな市民生活を現した「モデル展示場」について、このまちの新たなチャレンジです。

市民モニター参加者を募集

7月に発足した「あすのまち・三鷹」推進協議会には、多数の大学や企業、三鷹市医師会、三鷹商工会などが参加し、今後、約4年間わたって多くの市民のみなさんにもさまざまな形で参加、協力をお願いしながら事業を展開していく予定です。

市民モニターを募集(健康・医療分野)

この実証実験は、市民のみなさんのニーズが多い「健康・医療分野」「教育分野」の情報家電により家庭生活に密着した高度なサービスを提供するために、市民の個人情報を保護条例に準じて行われ、個人情報を保護する仕組みが三鷹市として確立されています。



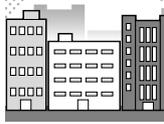
10月5日から 三鷹駅市政窓口を土曜日開設します <開設時間は、午前8時30分から午後5時まで> 市では、三鷹駅市政窓口の業務を、10月5日から土曜日にも行うことにしました。取り扱い業務は下記の内容です。一部当日お渡しできないものがありますので、ご注意ください。

Table with 2 columns: 受付業務内容 (Service Content) and 受付・お渡しの日時 (Service Hours). Lists various administrative services like residence registration, tax payments, and document submissions.

建築物防災週間 8月30日(金)～9月5日(木)

安心して暮らせる街をつくらう 安全チェックは日ごろから

平成13年に発生した新宿区歌舞伎町の火災では、一瞬にして多くの被害者が出る大惨事となり、建物の日ごろの安全管理の重要性が再認識されました。



「建築物防災週間」は、市民のみなさんに、建築物に関する防災知識の普及や周知を図るために年2回(3月と9月)行われます。安全で安心して生活できる街をつくるため、次のような安全チェックを行いましょう。

- ◆廊下や階段などに、避難をするときの障害になるような物を置いていませんか?
◆広告板は、しっかり固定されていますか?
◆外壁のタイルなどは、はがれていませんか?
◆ブロック塀などのひび割れ、倒壊の危険はありませんか?
◆病院・マンション・店舗などで多くの人を利用する建物として市の指定を受けている施設の場合、定期的な調査・検査をしていますか?
◆地震に備え、建物の耐震診断や改修を行い、安全性を確認していますか?

外目的に利用することはありません。またインターネット上に流れる個人情報(電話番号や認証技術など)外部に漏洩しない仕組みにより実施します。

◆健康管理サービス 病院の必要な患者の方が、専用の健康管理端末により在宅でかかりつけの医者よりインターネット経由の遠隔健康

◆教育サービス 学校で使用した教材をそのまま家庭でも使用できるように、あわせて記載された学習履歴や効果を参照すること

◆健康情報提供サービス 健康に関する総合的な情報サイトを提供します。また、ブロードバンド対応のインターネット端末(タブレットパソコン)のモニタリ

◆木造住宅耐震診断助成制度 木造住宅の耐震診断を行う際に、調査費用の一部を助成して提供します。

◆家具転倒防止サービス 市では、高齢者世帯などに対して、地震による家具の転倒などを防止する金具取り付けのサービスを行っています。

Table with 3 columns: サービス名 (Service Name), 応募条件 (Application Conditions), 募集人数 (Number of Applicants). Lists services like health advice, elderly support, and health information.

※くわしくは三鷹市ホームページをご覧ください。 URL: http://www.city.mitaka.tokyo.jp/asunomati/j-kaden/index.html/

により、教員や保護者が学習を支援できる教育サービスを提供します。なお、市民モニターは、協力校(二小・二小・三小・四小・井口小・東谷小)で募集します。

実証期間は概ね10月から来年までの期間となります。また、モータは、いずれも、実験期間のためのアンケートに協力いただけることと条件になります。参加無料。インターネット接続料などは自己負担。実験機器は実験期間中のみ貸与となります。なお、実験終了後は各サービスも停止する予定です。

安全で緑豊かなまちづくり 安全で緑豊かなまちづくり 安全で緑豊かなまちづくり

耐震改修費用の3分の1、※いすれも40万円を限度とします。 ◆世帯別の要件 ①障害者世帯 ②申請者本人または同居親族に身体障害者・知的障害者・戦傷病者を含む世帯 ③高齢者世帯 ④申請者が65歳以上で、同居親族が60歳以上で構成される世帯 ⑤18歳未満の同居については、③、④のほかの世帯 ⑥⑥以外の世帯